

難落蕾性を有するスイートピー新品種「試交28号」の特性

落蕾しにくい形質を持つ、花色がピーチ色の品種です。

背景・目的

- 宮崎県では冬期の豊富な日照条件を生かしたスイートピーの生産が盛んに行われ、その生産量、流通量は全国一となっています。
- スイートピーは曇雨天が続くと落蕾が発生し、収量が減少することから、難落蕾性の形質を有する品種を育成しました。

新品種の特徴

- 花色は奇弁が淡黄ピンク（JHSチャートNo.1002）、翼弁が淡黄ピンク（JHSチャートNo.1002）です。
- 落蕾しにくい形質を有し、2019年度～2021年度の試験場における調査では1株あたり落蕾本数は5本未満です。
- 1花房あたりの着輪数は3～4輪で、春咲き性の品種です。

育成経過

- 2010年春に、「宮崎サニーピーチ」に、落蕾しにくい品種の「桜川」を交配し、6年をかけて育成した品種です。

表1 「試交28号」と対照品種「宮崎サニーピーチ」の主な特性比較

品 種		試交28号	宮崎サニーピーチ
花色	旗弁 (JHSチャートNO.)	淡黄ピンク (1002)	淡黄ピンク (1002)
	翼弁 (JHSチャートNO.)	淡黄ピンク (1002)	淡黄ピンク (1301)
一花房当たりの花数		3.7	3.9
開花習性		春咲き性	春咲き性
2021年度落蕾本数(1株あたり)		4.0	9.9



図1 スイートピー「試交28号」の切り花

新品種の活用方法（又は期待される効果）

- この品種は、初期の生育がおとなしいことから、現地での栽培試験の結果、中山間地域の栽培管理方法が適しており、中山間地域における主力品種として採用されることが期待されます。
- 普及対象地域・戸数 中山間全域 5戸

留意点

- 種子冷蔵期間は4週間です。
- 輪数等の切り花品質は栽培中の管理状況によって変わります。